

2018年 新年社長挨拶

2018年1月4日

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正明

本年も、私はクラレをこんな会社になりたいということ、話しておきたいと思います。

1番目は「安心して働ける会社、事故や災害が起こらない安全な会社」にしたいということです。「安全はすべての礎」ということを念頭において、全員が自らの責任として無事故・無災害を目指して仕事に取り組んでいただきたい。

2番目はクラレグループで働く社員が、「そこで働くことに誇りを持てる会社」にしたいということです。クラレは一昨年に続いて昨年も公正取引委員会の立ち入り検査を受けるという、社会の信頼を損なう残念な結果となりました。あらためて皆さんとともに、コンプライアンスの徹底を図り、クラレグループがより良い会社として社会からの信頼を高め、社員が誇りを持って働ける会社とすべく取り組んでいきます。

3番目は「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に発展していく会社」にしたいということです。独自の技術をベースにして、クラレの内外にある新しい技術・力を活用して、強いコア事業はさらに強く大きくするとともに、成長を期待する事業は新用途の開拓や新技術・新商品による一層の規模拡大と収益向上を図り、今後も成長を続けていく会社でありたいと考えます。

さて、去年は各国・地域ともに多くの懸念材料を抱えながらも、世界経済は緩やかながら安定的に成長してきました。一方、日本経済に目を向けると、一部では明るい話も聞くものの、全体的にははっきりしない状況が続いています。もはや、このレベルが日本の安定的成長と言うべきかもしれません。秋以降、多くの日系化学企業は上期の好業績と、通期業績見込みの上方修正を相次いで発表しました。このような中、われわれクラレグループも、去年は中期経営計画「GS-STEP」の最終年度として、当初計画には大きく届かない結果とはなっていますが、過去最高益は更新する見通しです。

そして本年、2018年は、新しい中期経営計画がスタートする年です。計画の具体的内容については、ただいま最後の取りまとめと発表に向けた準備作業の最中ですので、2月の発表までしばらくお待ちください。今回の中期経営計画は、2026年のクラレ創立100周年に向けた長期ビジョンを踏

まえ、そのスタートにあたります。各事業部・本部、各事業所、各関連会社が策定した戦略と計画した施策を着実に遂行し、創立100周年に向けて大きく飛躍するために、しっかり基礎を固める年にしたいと考えます。

また、本年は買収することを決めたカルゴン・カーボン社との統合作業を進めていかねばなりません。世界ナンバーワンの活性炭会社をグループの一員に迎え、クラレの活性炭事業をどのようにそこに組み合わせていくのか、どのようにシナジー効果を生み出していくのか、積極的な提案と活動を期待します。さらに、新たな会社がグループに加わることで拠点数もますます拡大し、一層グローバル化が進むこととなります。クラレグループが真にグローバルな企業グループとして発展していけるよう、着実に足元を固めながら、前進していきましょう。

この真にグローバルで良い企業グループとして世界から認知してもらうためには、はじめに述べたコンプライアンス体制の強化に加えて、ダイバーシティへの取り組みも大切です。女性活躍も含めた働き方改革は、ダイバーシティの前提条件として、いろいろな個性を持った人達が安心して働ける職場、働きやすい、働きがいのある職場をつくっていくことを目指しています。本年はさらに本格的に取り組むことにしていますので、皆さんの一層の理解と協力をお願いします。

そして本年は、まもなく平昌オリンピックが開催されます。4年前に涙をのんだ高梨選手に対して、全社を挙げて応援しましょう！ただし、メダルは結果でしかありません。私たちは、彼女が素晴らしいジャンプで遠くまで飛ぶことを期待し、そして今までの練習の成果を出し切ることを願って、本人のプレッシャーにならないよう配慮しながら、声援を送りましょう。その結果がメダルに結びつけば、本当にうれしいことです。もちろん、そのほかの選手、そして海外関連会社のお国の選手に対しても、惜しみない声援を送りましょう！

以上